



地域と結ぶ情報誌

# ちゅうごくしこく

第3号

編集・発行

中国四国防衛局総務部

〒730-0012

広島市中区上八丁堀6-30

電話 082-223-7109

## 平成20年度 海上自衛隊呉地方隊展示訓練



広島湾一帯で8隻の艦艇が縦列航行等の操艦訓練を披露



去る7月19・20日の両日、宮島沖の広島湾一帯において、護衛艦「ひえい」をはじめとする艦船及び航空機等による展示訓練が3年ぶりに一般公開されました。2日間の体験航海に参加した見学者は、呉、広島、岩国及び松山の各港から総勢約7,000人が8隻の艦艇に分乗し、広島湾展示海域で繰り広げられた艦艇の操艦訓練やF4戦闘機の低空飛行（写真右）及び救難飛行艇の離着水訓練等を間近に観覧することができ、迫力のある各種訓練披露に誰もが満悦していました。



## 山口市で第6回防衛問題セミナー開催

中国四国防衛局は、10月8日(水)午後6時30分から、山口市内の山口市市民会館で「第6回防衛問題セミナー」を開催し、約140名の市民の方々の参加をいただきました。

今回のセミナーは、インド洋で海上自衛隊が実施している給油活動の根拠となる補給支援特別措置法(新テロ特措法)が来年1月15日に期限切れとなることから、その後も継続して活動できるように国際的な意義や補給活動の重要性、実施状況等について、広く国民に訴え、法改正の理解を深めていただくもので、「国際テロを根絶するために・インド洋での補給支援活動」をテーマとして開催し、当局の中村局長、外務省の今田総合外交政策局安全保障政策課課長補佐、また、インド洋での補給活動で派遣部隊の指揮官を務めた海上幕僚監部の尾島援護業務課長の3人の講師による講演を行いました。

まず、最初に主催者である中村局長から今回のセミナー開催の挨拶に続き、テロとの闘いは国際社会の最重要課題であり、インド洋における海上自衛隊の補給支援活動を継続する必要性等について説明、次に今田課長補佐からアフガニスタンに対する日本の人道・復興支援に係る説明が行われました。その後休憩を挿み尾島課長から現場の指揮官としてインド洋における派遣部隊の活動について、体験談を織り交ぜながら日本の給油、水の補給支援活動が海上テロの阻止活動に非常に有益であることなどが報告されました。

最後に、本セミナーに関して会場の参加者から多数寄せられた質疑等に対して、中村局長と今田課長補佐が回答し、所定の20時30分を若干過ぎての終演となりました。



山口市市民会館(小ホール)における講演会場



# 防衛問題セミナー開催の御案内

中国四国防衛局では、我が国の安全保障や国の防衛に関する問題について、広く国民の皆様に御理解を頂くため、防衛政策や自衛隊の活動の現状などについての情報を積極的に提供することとし、今後も引き続き、防衛問題セミナーを開催する計画です。

今回は、来る11月4日（火）に岡山市内のさん太ホールにおいて、「国際テロを根絶するために・インド洋での補給支援活動」をテーマに中村中国四国防衛局長及びインド洋派遣部隊指揮官経験者ほかを講師として、7回目の防衛問題セミナーを開催いたしますので、多数御参加いただきますよう御案内します。



入場無料・事前申込不要  
(ただし、定員(270名)になり次第締切)

防衛省・自衛隊  
MINISTRY OF DEFENSE

## 防衛問題セミナー

国際テロを根絶するために  
インド洋での補給支援活動

2008  
11/4(火)  
18:30-20:30

場所  
さん太ホール(1Fホール)  
岡山県岡山市柳町2-1-1

講師  
中国四国防衛局長 中村範明  
インド洋派遣部隊指揮官経験者 ほか



- 18:00から開場・受付開始
- JR岡山駅から徒歩約10分  
(市役所筋を南へ下がる)
- JR岡山駅から路線バス5分  
(「山陽新聞社前」下車)
- 駐車場の収容台数が少ないため  
公共機関のご利用をお願いします。

お問い合わせ先: 防衛省 中国四国防衛局 企画部 地方調整課 ☎082-223-7153  
広島県広島市中区上八丁通6-30 広島合同庁舎 4号館内  
<http://www.mod.go.jp/rdb/ohushi/>



### ◎ 今後の補給支援法関連の防衛問題セミナー開催計画

- 11月17日(月) 松山市内・松山市総合コミュニティセンター
- 12月 8日(月) 徳島市内・徳島県郷土文化会館



## 再編交付金事業について

在日米軍の再編による平和と安全の利益は、国民が等しく受けますが、そのための負担は一部の地域が負うこととなります。

このため、在日米軍の再編による負担を担っていただいた市町村に対して再編交付金を交付しています。

### ● 対象防衛施設、対象自治体

岩国飛行場：山口県岩国市、周防大島町、和木町及び広島県大竹市

### ● 交付対象事業の概要

再編交付金は、公共用の施設整備だけでなく、住民生活の利便性の向上や産業の振興に寄与する事業(いわゆるソフト事業)も対象となります。

交付対象事業	対象事業の例示
1 住民に対する広報に関する事業	広報パンフレット作成、地元説明会開催等
2 国民の保護のための措置に関する事業	J-ALERT、緊急通報システムの整備等
3 防災に関する事業	無線施設、消防自動車の整備、防災訓練等
4 住民の生活の安全の向上に関する事業	防犯カメラの設置、パトロール車の整備、防犯パトロール等
5 情報通信の高度化に関する事業	光ファイバー網、行政機関内部の情報通信ネットワークの整備等
6 教育、スポーツ及び文化の振興に関する事業	学校及び各種学校、公民館・図書館等の整備、伝統行事や文化財の保護、ボランティア活動支援等
7 福祉の増進及び医療の確保に関する事業	老人福祉施設、保育園の整備、デイサービス、バリアフリー推進等
8 環境衛生の向上に関する事業	上水道、火葬場等の整備等
9 交通の発達及び改善に関する事業	道路整備、街路等、コミュニティバスの運行等
10 公園及び緑地の整備に関する事業	都市公園、緑地帯の整備等
11 環境の保全に関する事業	一般廃棄物処理施設、リサイクル施設の整備、ゴミ減量化対策等
12 良好な景観の形成に関する事業	都市環境設計等
13 企業の育成及び発展並びにその経営の向上を図る事業	農林水産物施設等の整備、特産品紹介等
14 前各号に掲げるもののほか、生活環境の整備に関する事業で防衛大臣が定めて告示するもの	第1号から第13号までに該当しない事業であって、住民の生活の利便性の向上及び産業の振興に寄与すると認められる事業



## ● 交付済事業の概要

当局企画部周辺環境整備課では、平成19年度より「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」第6条に基づき、再編交付金事業を実施しております。

### 平成19年度再編交付金事業

再編関連特定 周辺市町村名	事業種別	事案名	事業内容
周防大島町	福祉の増進及び医療の確保に関する事業	ちびっ子医療費助成事業	小学生の医療費を無料化するための基金造成
和木町	福祉の増進及び医療の確保に関する事業	福祉農園整備事業	用地買収 A=2,288.35㎡ 福祉農園整備工事一式
	交通の発達及び改善に関する事業	山の手砂田線舗装工事	道路舗装工事 5.0m×329.05m
大竹市	防災に関する事業	消防車両整備	消防広報車1台 積載車1台 小型動力ポンプ付軽四輪駆動消防車2台
	福祉の増進及び医療の確保に関する事業	阿多田診療所運営補助事業	阿多田診療所運営補助するため基金造成
		自動体外式除細動器設置	公共施設にAED(自動体外式除細動器)10台設置
		高規格救急車整備	高規格救急車1台



平成19年度再編交付金事業  
で整備した消防積載車  
(大竹市)



# 平成20年度再編交付金事業

平成20年10月10日現在

再編関連特定 周辺市町村名	事業種別	事業名	事業内容
岩国市	教育、スポーツ及び文化の振興に関する事業	学校施設等耐震化事業	市内の学校施設等の耐震診断事業を実施するため基金造成
	福祉の増進及び医療の確保に関する事業	こども医療費助成事業	小学生の医療費を無料化するための基金造成
		妊婦・乳児健康診査強化事業	乳児・妊婦健康診査費用の助成をするための基金造成
		岩国市立小学校自動体外式除細動器(AED)整備事業	市内小学校にAED(自動体外式除細動器)33台設置
周防大島町	国民の保護のための措置に関する事業	全国瞬時警報システム整備事業	全国瞬時警報システム(J-ALERT)一式
	防災に関する事業	浮島漁港施設整備事業	防波堤嵩上 L=44.5m 陸閘設置 実施設計
		地域防災整備事業	防災・防犯パトロール車1台 消火栓ホース36本(φ50mm×20m) ホース格納庫12台
	福祉の増進及び医療の確保に関する事業	AED設置事業	町内小中学校にAED(自動体外式除細動器)22台設置
	交通の発達及び改善に関する事業	町道岩内線舗装工事	道路舗装工事 5.0m×224.8m
和木町	教育、スポーツ及び文化の振興に関する事業	和木中学校改築事業	工事費 RC3階建 694.58㎡
		和木3丁目第2集会所整備事業	用地買収 A=383.03㎡ 集会所整備 木造平屋建 137.46㎡
	福祉の増進及び医療の確保に関する事業	健やか安心事業	町民の健康保持の向上を図るための基金造成(0歳～12歳まで医療費無料化、乳児・妊婦健康診査費用の助成など)
大竹市	教育、スポーツ及び文化の振興に関する事業	大竹小学校改築事業	実施設計一式
		玖波小学校空調機設置事業	空調機設置12台
		玖波中学校空調機設置事業	空調機設置9台及び電気工事一式



## 海自第1術科学校の教育参考館がリニューアル



海軍兵学校で名高い江田島市江田島町に所在する海上自衛隊第1術科学校の教育参考館が、当局調達部の直轄工事により大改修され、御影石の柱6本を配した鉄筋コンクリート2階建(延5,445㎡)の当館が9月26日からリニューアルオープンしました。

主な改修工事の内容は、建物の外壁(タイル張)及び内装等の全面的な改修工事のほかに高齢者や車椅子の見学者に配慮した正面玄関左側のスロープ及びエレベーターが新たに整備されました。(全体の改修費約12億2千万円)

近隣の呉市内に昨年4月に開館されている海上自衛隊呉史料館「てつのかじら館」とともに皆様のご来館を大いに期待しています。



客席及び床等全般的な改修が施された「映写講堂」



天井及び展示ケースが改装された「2階展示室(6号室)」



## 中国5県の危機管理監と初の防災等連絡会議を開催

当局管内の陸上自衛隊第13旅団（海田市）において、去る7月11日、中国5県の危機管理監及び自衛隊幹部等による「災害派遣及び有事の際の国民保護での連携を強化するための防災等連絡会議」が開催されました。

今回の連絡会議は、地方自治体から中国5県と広島市の危機管理監等が、また、防衛省から陸自・中部方面総監部、第13旅団、中国5県の災害派遣担当区部隊、海自・呉地方総監部、空自・西部航空方面隊及び中国四国防衛局の各幹部等が参加して国民保護及び防災等に関する意見交換を行う場として初めて開催されたものです。

会議の前半は、主催者の第13旅団から防災等の全般説明、防災関連装備品の展示紹介及び人命救助・生活支援に係る展示訓練が行われ、後半では、陸・海・空自衛隊の国民保護訓練・災害派遣対処体制及び県・市における災害対処体制並びに自衛隊との連携状況等の現状について紹介があり、参加者全員による危機管理等の活発な意見交換が行われました。

防災関連装備品の展示会場においては、手術室を備えた特殊車両、給水車及び野外組立式用の風呂等が展示されるほか、野外炊具1号により実際に炊き出しを実施した食料が参加者に試食として振る舞われました。

また、展示訓練では、進入困難な地域における被災者をヘリにより救助し、応急手術のできる野外手術システムまで搬送する一連の救助活動が実施されるなど、災害に対する迅速な対応が実践しながらに披露されました。

なお、本年度初めて実施された本会議は、危機管理の重要性に鑑み自衛隊と地方公共団体との連携を一層強化するため、来年度以降も継続して開催されることとなりました。

## 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会開催

去る6月27日、第39回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会が、岡田委員長をはじめとする学識経験者の委員の方々並びにオブザーバーの山口県や岩国市の担当者及び当局職員の出席により、広島市内のホテル会議室において開催されました。

今回の委員会では、「①平成19年度藻場・干潟監視結果、②平成19年度藻場・干潟回復調査結果、③平成20年度埋立工事完了後における藻場・干潟環境の追跡調査結果(4月～5月)、④平成19年度藻場・干潟回復モニタリング調査結果、⑤平成20年度藻場・干潟回復モニタリング調査結果」の5項目について審議され、調査結果については、工事による影響がなかった事が確認されました。

なお、審議の概要については、中国四国防衛局ホームページにおいて公開していますので、ご覧下さい。

また、次回の委員会は、本年12月に開催する予定です。

中国四国防衛局ホームページのアドレスは下記のとおりです。

<http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/>